

学んだことを活かし、自ら考える力を育てる算数の授業づくり

— 根拠を基に分かりやすく説明し合う活動の工夫 —

算数・数学班 矢内 圭代（小学校教諭）

児童の実態

- ・基礎・基本が定着していない。
- ・学んだことを使って、自ら課題を解決する力が弱い。
- ・考えたことを説明するのが苦手。

教師の願い

- ・既習事項を使えば、課題を解決できることに気付かせたい！
- ・考えたことを友達に分かるように説明させたい！



手立て

- その1 既習事項の振り返り方の工夫により、自力解決を促す
- その2 ワークシートと交流のしかたの工夫により、自分の考えを説明させる

実践1「小数のわり算」(第5学年)

課題 320 ÷ 1.6 の計算のしかたを考えよう

「小数のかけ算」の学習を想起させる

話し合いの様子

- T: 320 ÷ 1.6 はできる？
 S1: できる！4年のときにやった。
 S2: え～、できないよ。
 T: 4年生では3.2 ÷ 4のように、わる数が整数だったよね。
 S3: 今度は、わる数が小数なのか…。
 T: 小数のかけ算の時には、
 どうしたんだっけ？
 S4: かける数を10倍した！
 S5: テーブ図でも考えたよ。

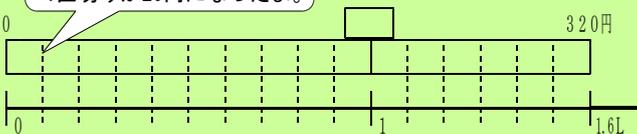
既習事項との比較

既習事項の活用への気付き

全体での話し合いによって
解決の見通しが持てた！

ワークシートを見せながら自分の考えを説明

16個に区切ってみたら、
1区切りが20円になったよ。



図や式を使って友達に説明

友達の考えをみんなで共有

ねだん(円)	?	320	3200
量(L)	1	1.6	16

両方とも10倍して
計算してみたら
3200 ÷ 16 = 200
になったよ。

友達と交流することで考えが明確に！



実践2「図形の面積」(第5学年)

課題 台形の面積を求めて、公式を導こう

前時の学習を活かして本時の見通しを持つ

話し合いの様子

- T: どのような形に変形しますか？
 S1: 三角形とか平行四辺形。
 S2: 長方形。
 T: どのように？
 S3: 二つくっつける！
 S4: 線を引く！



児童による操作

2倍にして
平行四辺形にする

三角形に
分ける

平行四辺形に
変形する



友達の発言で解決の見通しが持てた！

図に示したことをもとに友達に説明

ワークシートに記入した図や式をもとに、考えを説明



上底と下底と高さが
分かればいんだ！

ワークシートの図や言葉を示しながら
根拠をもとに説明できた！

提言

- ・全体で課題解決の見通しを持つ場面を設定すれば、基礎・基本の定着が十分でない児童でも既習事項の活用に関心、自力解決を促すことができる！
- ・図や式、気付いたことなどを書き入れるワークシートを活用し、少人数で交流する場面を設定することで、根拠をもとに自分の考えを説明することができる！